

精神障がい者の家族教室

10月2日(金)13時30分~15時30分、厚木保健福祉事務所大和センター(大和市中心)。

CSP子育て練習講座

10月7日・21日の各水曜日10時~12時、市役所6階視聴覚室(全2回)。



カップリングパーティーde愛(出逢い)あやせ

11月14日(土)18時30分~21時、ザ・ウイングス海老名(海老名市中心)。

あやせ福祉ふれあいまつりフリーマーケット出店者

11月29日(日)10時~14時30分、オーエンス文化会館駐車場で開催する同まつりフリーマーケット(雨天中止)の出店者。

にある申込書に記入し、出店料を添えて同協議会へ直接。

綾南・大上保育園非常勤職員

▶綾南保育園▷勤務日時 週5日16時~18時か16時30分~18時30分▷賃金 時給1060円▶大上保育園▷勤務日時①週5日15時45分~18時45分②週5日9時~17時30分▷賃金 ①時給1060円②日給8220円▶内容 保育士業務▶資格 保育士資格▶人数 各園若干名▶用 市販の履歴書に記入(要写真貼付)し、9月11日までに各園(綾南保育園☎76・0030、大上保育園☎77・0323)へ直接



ごみ減量情報紙「カワセミ新聞」有料広告

▶規格(縦×横:単位cm)・広告料①(9.6×12)・3万円②(4.8×12)・1万5000円▶用 リサイクルプラザにある申込書(市ホームページからダウンロード可)に記入し、9月10日までに同プラザ(☎70・5667)へ直接▶詳細 市ホームページを見るか同プラザへ問い合わせ

各種自衛官

▶募集区分▷防衛大学校学生(推薦・総合選抜・前期)▷防衛医科大学校医学科学生▷防衛医科大学校看護学科学生(自衛官候補看護学生)▶対象 来年4月1日現在18~20歳で高校卒業か卒業見込みの方▶受付期間 9月5日~30日[防衛大学校学生(推薦・総合選抜)は9月5日~9日]▶用 自衛隊厚木募集案内所☎046・400・2486

お知らせ

線引き変更の素案閲覧と公述受け付け

9月4日(金)~25日(金)、県都市計画課(☎045・210・6175)と市都市政策課(☎70・5625)で、市街化区域・市街化調整区域の区分など都市計画変更の素案の閲覧と、公聴会での公述申し出(10人程度)の受け付

市民の広場



Pick & Lips LIVE in まつぼっくり

9月13日(日)11時~12時、松ヶ丘ナーサリーまつぼっくり(寺尾中)。

デッサン会

9月20日(日)13時30分~17時、中央公民館。着衣モデルのデッサン。

綾瀬邦楽舞踊連盟発表会

9月21日(月・祝)11時~17時、オーエンス文化会館。



パソコン講習会(画像処理と動画の編集 初級2回コース)

9月23日(水・祝)・25日(金)9時

30分~12時30分、中央公民館。写真の補正・修整と動画の編集など。

あやせ児童作品展ボランティアスタッフ

10月3日(土)10時~17時・4日(日)10時~16時、オーエンス文化会館。

サークル

手編みグループ

第2・4水曜日10時~12時、早園地区センター(8月は休み)。

写彩あやせ(写真)

毎月第2・4月曜日13時~15時30分、中央公民館。

10/15号原稿は9/10締め切り

けを行います。公聴会は10月26日(月)19時~21時、市役所314・315会議室(公述申し出がない場合は中止)。

9月1日は「防災の日」

災害は、いつでもどこで起きるか予測できません。もしものときに身を守るには、日頃の心構えが大切です。

年金情報流出に便乗した犯罪に注意

日本年金機構を名乗る不審な電話がかかってくるとの相談が寄せられています。①預金口座番号を聞く②流出個人情報の削除を持ち掛ける③お金を要求する④キャッシュカードを預かる⑤ATMの操作を依頼する⑥家族構成を確認する一というような内容の電話がかかってきたときには、相手にしないでください。同機

構では、年金情報の流出に関して電話やメールで連絡することはありません。自分の年金情報が流出しているかなどの相談は、同機構☎0120・818211(8時30分~21時)か厚木年金事務所☎046・223・7171へ。

日赤活動資金協力へのお礼

5月の赤十字運動月間に、自治会を通じて日本赤十字社へ寄せられた募金額は736万5861円でした。同社の災害救護事業や国際活動などに活用されます。ご協力ありがとうございました。同社支部綾瀬市地区(福祉総務課内)☎70・5613。

寄付 ありがとうございます

▶みどりのまちづくり基金へ 株式会社タズミ(田墨幸一郎代表取締役)▶用 みどり政策課☎70・5627



9月9日の「救急の日」は、救急業務・医療に対して理解と認識を深め、救急医療関係者の意識を高めるために定められました。この日を含む日曜日・土曜日の1週間を「救急医療週間」としてします。

必要とする人のために 救急車の利用は適正に

救急車は、けがや病気で緊急に医療機関に搬送しなければならぬ人のためのものです。昨年の救急出動件数は3576件で、昨年比38件減、搬送人員は3394人で、昨年比39人減となりました。搬送に至らなかった件数は214件ありました。

救急業務・医療に理解を 9月9日は「救急の日」

緊急時に受けられる医療体制を整備 けがや病気など緊急の場合、いつでもどこでも適切な治療を受けられるように、県保健医療計画に基づき、医療機関の診療時間以外でも受けられる、症状の軽い人への応急処置や重傷者の入院治療などの救急医療体制を整えています。詳しくは3月に戸別配布した保存版あやせ健康だよりを見てください。

緊急時に受けられる医療体制を整備

- 1. 傷病者の様子や事故の状況などから、病院への搬送が必要な場合は、迷わず119番通報してください。
2. 消防総務課☎76・2113。
3. 必要とする人の命を確実に救うために、緊急性がない場合は、交通機関などを利用してください。
4. 病院の場所が分からない(タクシーの代わり)
5. 救急車で早く早く医者に見てもらえる
6. 病院へ行く車が無い(タクシーの代わり)
7. 救急車を誤った利用例
8. 親を病院へ連れていってほしいので連れて行ってほしい